

西和賀町介護施策に関する提言書

西和賀町議会総務教民常任委員会

1. 介護人材の確保・定着に向けて

- **介護職の魅力発信とイメージ刷新**

介護職の「3K(きつい・汚い・危険)」イメージを払拭し、専門性や社会的意義を積極的に発信する広報活動を強化することが必要です。町独自のPRや、地元学校との連携による職業体験の機会創出も有効です。

- **外国人材の受け入れ体制強化**

外国人職員の採用コストや住宅確保の課題に対し、町として住宅支援や生活サポート体制の整備を進めるとともに、採用から定着まで一貫した支援策を講じるべきです。

- **夜勤・専門人材の確保支援**

夜勤や有資格者の確保が困難な現状を踏まえ、資格取得支援や夜勤手当の拡充、柔軟な勤務体制の導入を推進してください。

- **西和賀町の魅力の発信**

「この町で働きたい」と思えるような町の魅力の発信が必要です。介護人材の確保だけではなく町の移住者を増やすことにもつながります。

2. 介護施設の経営安定化

- **介護報酬体系の見直し要望**

介護度による報酬体系の矛盾を是正するため、国や県への制度改善要望を町として積極的に行うことが重要です。

- **物価・人件費高騰への財政支援**

物価や人件費の高騰に対し、町独自の補助金や家賃補助、老朽施設への改修補助など、現場の実情に即した財政的支援を拡充してください。施設のニーズを把握した上でICT・ロボット技術の活用を推進してください。

- **利用料金改定の柔軟化**

利用者負担の公平性を保ちつつ、施設経営が持続可能となるよう、利用料金改定の柔軟な運用や相談体制の強化を検討してください。

3. 町の介護の将来像と行政の役割

- **施設統合・再編の推進と調整役**
複数施設の統合・再編を円滑に進めるため、町が状況を把握し、理念や職員体制の調整の相談に応じる、町民ニーズの把握・情報提供を積極的に行うなどするべきです。
- **在宅ケア・地域見守り体制の強化**
「施設依存」から「在宅・地域での生きがい重視」への転換を図り、地域全体で見守り助け合う仕組みを地域と共につくるべきです。
- **情報共有と連携の強化**
介護保険の地域内循環状況や職員離職状況など、現場と行政の情報共有を徹底してください。

4. 人材育成・生活支援の充実

- **人材育成システムの構築**
研修制度の充実などにより、地元人材・外国人材双方の育成を強化してください。
- **生活支援・予防活動の推進**
福祉運送や給食センターの活用、予防活動の強化など、生活支援サービスの拡充を図り、高齢者の自立支援を推進してください。

5. 総括

今後は、町主導による総合的な支援策の展開、施設統合や ICT・ロボット導入支援、情報共有の強化など、多角的な施策を一体的に推進することが不可欠です。介護現場の職員の献身的な努力に最大限の敬意を表し、町全体で支える体制づくりを目指してください。